

# ちょーいちょいちょい!





# ニホンミツバチ の巣箱をつくろう!

産山社子屋【自然科学】

2月9日(金)、うぶやま牧場ガラスハウスにおいて産山社子屋【自然科学】科目として、地域おこし協力隊員である堀江宏喜さんの企画でニホンミツバチの巣箱づくりを行いました。材料や指導者の数と調整し、10組限定で参加者を募集しましたが、お知らせ端末の他にSNSでも参加を募ると、村民だけでなく県外からの応募もあり、すぐに定員に達し人気の企画となりました。

ミツバチは野菜や花など植物の受粉に貢献し、私たちの生活から切り離すことのできない生き物です。しかし、農薬の散布や地球温暖化などの影響で年々減少しています。熊本にはそんなニホンミツバチのために活動する「日本みつばちを守る熊本の会」という方々がおり、今回の社子屋は当会の指導のもと、巣箱づくりに挑戦しました。



「日本みつばちを守る熊本の会」により作成キットとなる板材などは準備されており、参加者は電動ドリルで組み立てる作業を行いました。簡単そうな作業ではありますが、板の向きやねじの位置などにコツがあり、指導者の方々の丁寧な指導により参加者全員が巣箱を完成させることができました。作業の合間にニホンミツバチの蜂蜜の試食やミツバチに関する情報提供で、村内外の人々の交流があり、賑やかなイベントとなりました。

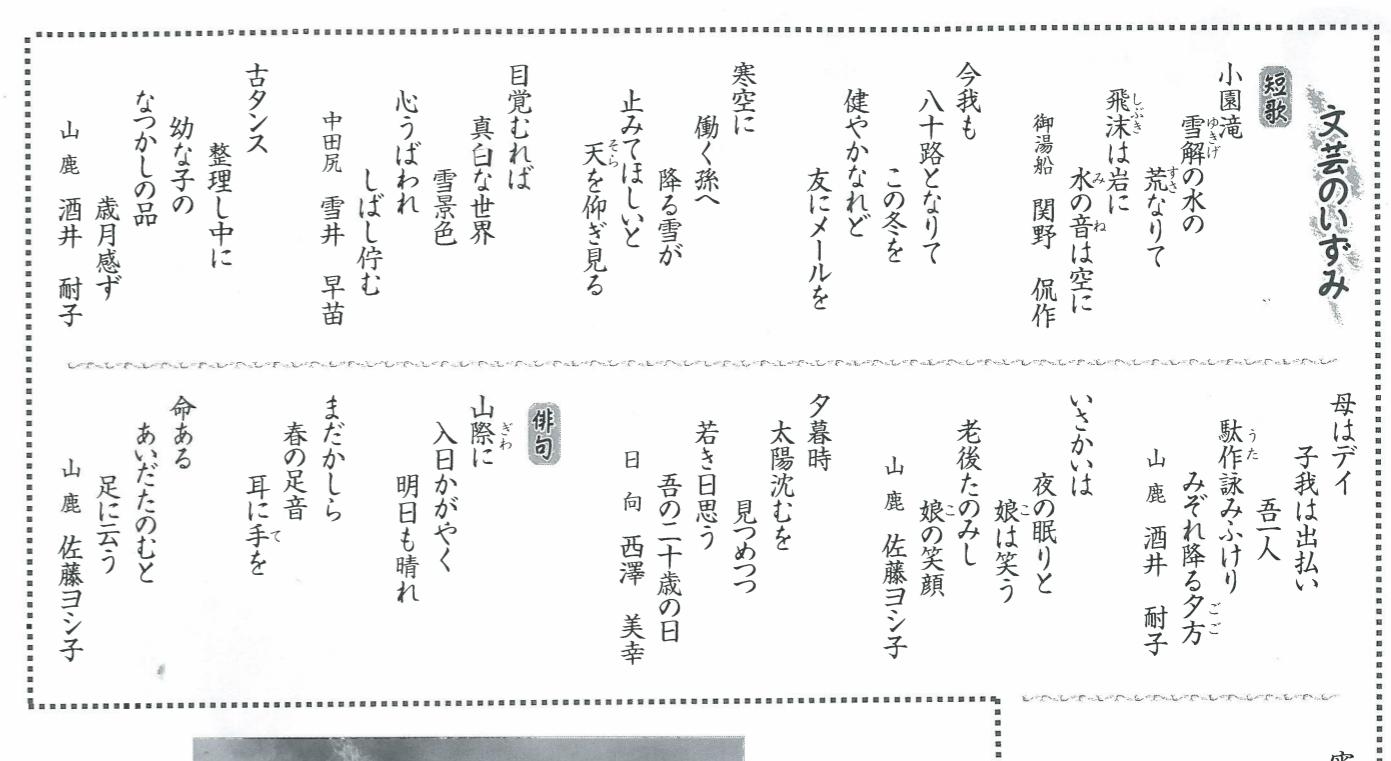
全員の巣箱が完成すると、「日本みつばちを守る熊本の会」楠本邦昭会長によりニホンミツバチに関して巣箱設置や捕獲のアドバイスがありました。

ニホンミツバチは春になると、新しく生まれた女王蜂とこれまでの女王蜂の群れに分かれる「分封(分蜂)」を行います。この分封のタイミングで、新しい住みかを探す群れが巣箱に入居できるように巣箱を設置します。

ニホンミツバチはキンリョウヘンというラン科の花の開花の時期に分封を行うため、設置した巣箱の近くにキンリョウヘンの花を置くとそのまま巣箱に入る可能性が高いそうです。巣箱に蜜蠟を塗ったり、冬は風が入りにくいように、夏は風通りをよくしたりとアドバイスがありました。

「日本みつばちを守る熊本の会」の会長は「産山村は草花が多く綺麗な自然環境なので、ニホンミツバチも暮らしやすい環境だと思う。自分達も研究しながら探し探りやっているので、これで絶対くるともわからない」と言い、参加者同士の情報共有を勧めました。

イベント参加者は情報交換を続けており、村内外の交流の輪が広がりました。



(平成30年2月23日提出)

井渡	忠良
二月六日没	一美 様 (小迫)
二月六日没	（東上田尻）
二月六日没	（東上田尻）

## お悔やみ申し上げます

■産山村人口の動き(1月30日現在)						
男	795人					
女	731人					
合計	1,526人					
世帯数	624戸					
男 出生	0人	死亡	2人			
転入	2人	転出	2人			
女 出生	0人	死亡	0人			
転入	2人	転出	2人			

熊本県子牛市場品種別セリ成績表						
熊本県畜産農協阿蘇支所統計による ○市場セリ日:平成30年2月7日(水)~9日(金)						
褐	性 別	頭数	平均価格	先月比	平均体重	Kg単価
	県市場 平均	去勢	204	▲24,332	316	2,162
毛	性 別	頭数	平均価格	先月比	平均体重	Kg単価
	県市場 平均	メス	149	▲16,455	297	1,883
黒	性 別	頭数	平均価格	先月比	平均体重	Kg単価
	県市場 平均	去勢	5	▲41,904	344	2,043
毛	性 別	頭数	平均価格	先月比	平均体重	Kg単価
	県市場 平均	メス	5	▲27,972	276	1,852
黒	性 別	頭数	平均価格	先月比	平均体重	Kg単価
	県市場 平均	去勢	464	▲9,069	304	2,729
毛	性 別	頭数	平均価格	先月比	平均体重	Kg単価
	県市場 平均	メス	333	4,508	281	2,610
黒	性 別	頭数	平均価格	先月比	平均体重	Kg単価
	県市場 平均	去勢	11	27,075	307	2,948
毛	性 別	頭数	平均価格	先月比	平均体重	Kg単価
	県市場 平均	メス	16	▲43,644	277	2,796



## 2/24(土) 第2回「うぶやま真冬のフリマ」

産山村屋内式多目的施設で、第2回となる「真冬のフリマ」が開催されました。昨年も2月に開催され、お客様や出店者から大変好評であったため、今年も2月に屋内での開催となりました。

村内からの参加者も多く、県内外から約30店舗もの出店がありました。産山産の新鮮野菜や加工食品、手作り雑貨や衣類、純米吟醸「産山村」の酒粕、甘酒など様々な販売や動物のふれあいブースやタロット占い、カラーセラピーなどもあり、県内外からおよそ500人のお客様が訪れ、会場は大賑わいでした。

2/15(木) 阿蘇地区商工会  
青年部合同研修会

産山村基幹集落センターにおいて、阿蘇地区商工会青年部合同研修会が開催されました。研修会には阿蘇の7市町村の商工会青年部が集まり、それぞれの市町村代表による「若い経営者の主張大会」と大岩幸哉税理士による「消費税軽減税率導入に伴う企業の対応について」というテーマの講演が行われました。

主張大会には、産山村からは高橋建築の高橋康太さんが代表として主張を発表しました。最優秀賞には南小国町の森永一美さんが選ばれ、阿蘇地区の代表として県の主張大会に出場することが決まりました。



## 2/14(水) 「産山村の山鹿川を考える会」発足

～子ども議会の提案をきっかけに～

産山村役場会議室で「産山村の山鹿川を考える会」設立総会が開かれました。

設立のきっかけは、去る2月2日に開かれた「子ども議会」における産山中学校生徒の提案によるものでした。

中学生たちは、「産山村に流れている玉来川は、かつて山鹿川と呼ばれ、中学校校歌にも山鹿川の名称が残っており、古くから親しまれている「山鹿川」の名称に戻すことができないものだろうか」と提案しました。そして間もなく、子どもたちの故郷を思う提案に賛同した高橋孝徳さんを中心に有志の会が立ち上りました。

総会では、まず、産山村を愛し、産山村を誇りに思う子どもたちの思いを大切にし、河川名称変更の実現に向けて取り組むこと、そして、山鹿川が玉来川に変更された経緯等の記録を収集し、多くの方に「山鹿」の名称に関心を持ってもらうように現状を伝えること、さらに、名称変更に賛同する人を募り、住民の声

として、河川を管轄する機関にその声を届けることなど、取組の方向性が話し合われました。



## 1/26(金)・29(月) 夢の給食～産山の農産物を学ぶ～

給食を通して村の農産物を学び、生産者との交流の機会の場となる「夢の給食」が小中学校で行われました。この取組も今年で5回目を迎え、小学校では村内の生産者で酒米研究会のメンバーである高橋孝徳さん、渡辺裕文さんから稻作の苦労話ややりがい、諦めずに挑戦することの大切さなどのお話をしていただきました。中学校では(株)やまうち醤油の山内卓さんから醤油や発酵食品についての講話がありました。

その後の給食で児童・生徒は、無農薬米のイセヒカリやあか牛のステーキ、チンゲンサイといたけのソテーなど村の農産物を食材にした給食に舌鼓を打ちました。



## 2/3(土) 大草原のうさぎ追いinうぶやま

うぶやま牧場及び周辺の草原において第21回「大草原のうさぎ追いinうぶやま」が開催されました。連日の積雪が残っていたものの当日は晴天にめぐまれ、冬の産山村を体感できる雪景色の中でのうさぎ追いとなり、土曜塾から参加した児童、生徒、村民の参加者のか、県内外から100名近くの参加がありました。

小国町の猟師の江藤理一郎さんや産山村獵友会の方々にご協力いただき、参加者たちは元気いっぱいに「ちょーい、ちょい、ちょい！」と声を上げながら草原を歩き、1羽のうさぎに出会うことができました。また、昼食後に参加者からうさぎの名前を募集したところ、産山村の雪の中で見つけたうさぎということで「産雪（うぶゆき）」と命名されました。

閉会式後に広場から産雪を放すと、産雪が雪の上を駆けて草原に帰っていく様子を見届けることができ、参加者からは感嘆の声が聞かれました。



# 夢創造

## うぶやま保育園児の産山小学校体験入学

保育園と小学校の接続プログラムであるアプローチカリキュラムの一環として、さくら組が産山小学校で1月24日と2月26日の2回、体験入学を行いました。

1回目は、1・2年生とのお楽しみ交流、1年生と国語の模擬授業、給食試食会などプログラムが満載でお姉さんやお兄さんと楽しく過ごしていました。



《給食、おいしいよ!》



《魚つり体験を楽しむ園児たち》

2回目は5年生と体育館で「鬼ごっこ」などのルールを優しく教えてもらいながらレクリエーションを体験しました。その後5年生に連れられて、小中学校の校舎内を巡る「学校探検」や地区児童会に参加したり、スクールバスの乗車体験をしたりしました。

さくら組のみんなは、このような体験を通して来年度新しく開校する「産山学園」への入学を夢見て学んでいます。

## 産山村子ども議会

産山中9年生は2月2日に役場議場で「子ども議会」を行いました。これは産山に誇りを持ち、自らの生き方を考える「うぶやま学」(キャリア教育)の総仕上げとして、村に対して、「こんな産山になって欲しい」と議員提案を行う活動です。

9年生は3つの班に分かれて、ファームビレッジに自然共生型のアスレチックの建設、自然豊かな産山の河川資源の活用、ジビエ料理の提案、産山における玉来川の名称を山鹿川に変更することなどよく調べて発表していました。それに対して村も真剣に応答して、村長も「よく検討して実現可能なものは積極的に進めたい」と答えました。

産山村のイメージキャラクター「うぶちゃん」や「うぶやま天文台」もこの取組によって生まれたものです。村の将来を積極的に考える提案にたくさんの拍手が送られました。



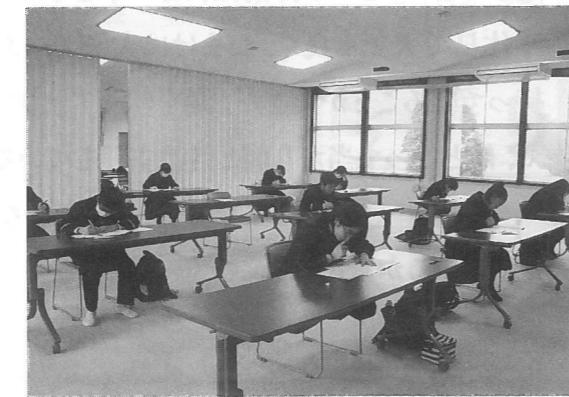
## 学力向上をめざす夢塾テスト

学習塾がない産山村において小中学生の学力向上を目指す村教育委員会が主催する「うぶやま夢塾」で学力テストを実施しました。

入試が目前に迫った9年生には熊日模試(1月7日:阿蘇市農村環境改善センター)、7・8年生には全国標準学力テスト(2月10日:村基幹集落センター)を実施しました。

熊日模試は県下ほとんどの中学3年生が受験するので入試前に実力を試すためにとても役立ちました。

また、7・8年生の全国標準学力テストは、現在自分が教科のどこの部分が理解できていないのか総合的に判断されるので、今後の学習に非常に役に立つものです。



成講座を行います。

手話奉仕員とは、手話を身に着け、社会生活等において、手話を必要とする耳に障がいがある人と障がいはなく手話がわからない人との意思疎通を支援する人材育成です。

○日 程:

【入門課程】平成30年4月6日から8月10日まで 18日程

【基礎課程】平成30年8月31日から平成31年3月29日まで 28日程  
(テスト・閉講式二日を含む)

※基礎課程は入門課程を修了した方に限ります。初心者は受け付けませんので注意下さい。

○時 間:毎週金曜日 18時30分から20時30分まで2時間

○会 場:南小国町自然休養村管理センター(阿蘇郡南小国町大字赤馬場14番地1)

○申込方法:開催日に会場で受け付けます。ただし、5月11日を以て締め切らせていただきます。

○受講資格:高等学校卒業以上の学力を有した者とさせていただきます。

なお、平成31年3月高等学校卒業の見込みがある方は受け付けます。

○受講料:無料、ただし、テキスト・副教本として日本聴力障害新聞込で7,140円をお願いします。

■お問い合わせ先

一般財団法人熊本県ろう者福祉協会

熊本市中央区水前寺6丁目九番4号

☎ 096-383-5587

FAX 096-384-5937

を推進するため、次のような取り組みを行っていきます。ご支援、ご協力お願いします。

◎植樹祭・育樹祭の開催等による森林の整備や環境緑化の推進

◎次代を担う緑の少年団の育成、学校環境緑化の推進

◎県民、企業、団体等の協働による「県民参加の森づくり」の推進

◎緑化キャンペーンによる緑化の啓発活動

◎緑化や木製品の提供による熊本地震復興支援の活動

### 《役場電話番号》

●総務課	25-2211
●企画振興課	25-2211
●健康福祉課	25-2212
●住民課	25-2212
●経済建設課	25-2213
●教育委員会	25-2214

### 緑の募金のお願い

「緑の募金」は、森林の整備や環境緑化を推進するため「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、緑の募金運動としてお願いしています。

県土に広がる森林は、私たちの日常生活の中に、美しい景観や自然の恵みを与えてくれるとともに、清らかな水を安定的に供給してくれています。更に、災害から私たちの暮らしを守り、二酸化炭素の吸収や固定をすることにより地球の温暖化を防止し、快適な環境を育み、生物多様性を保全する場を提供するなど、様々な恩恵をもたらしています。

3月21日は森林や樹木に対する意識を高める記念日の「国際森林デー」です。この趣旨も踏まえて、森林・みどりに対する課題や関心を、具体的な「森林を守り育てる」取り組みへとつなげるため、私たち一人ひとりが、様々な形で募金運動や森林整備、環境緑化の取り組みに関わっていくことが重要です。

公益社団法人熊本県緑化推進委員会は、くまもとの森林・みどりを県民共有の財産として守り育て、次の世代に引き継いでいく「みどりの財産づくり」

### 『続けよう 植えて育てて 緑の輪』

(平成30年国土緑化運動標語)

○募金期間

春期 3月1日～5月31日

秋期 9月1日～10月31日

○税制上の優遇措置

ご協力いただいた募金については、所得税、法人税の優遇措置の対象となります。個人の場合、2千円を超える寄付金については控除が受けられます。また法人の場合、税法上の限度額内で損金算入できます。

■お問い合わせ先

公益社団法人熊本県緑化推進委員会

☎ 096-387-6195

FAX 096-387-6218

### 平成30年度 阿蘇圏域手話奉仕員 養成講座のご案内

平成30年度阿蘇圏域手話奉仕員養成講座

### あなたの山林、誤伐・盗伐大丈夫ですか?

#### ◆山林の伐採や譲渡の前には、境界の確認をしましょう!

◇山林(森林)の境界を誤って、他者の所有地の立木を

伐採してしまったことによるトラブルが増えています。

◇山林を伐採したり、立木を販売・譲渡したりする場合

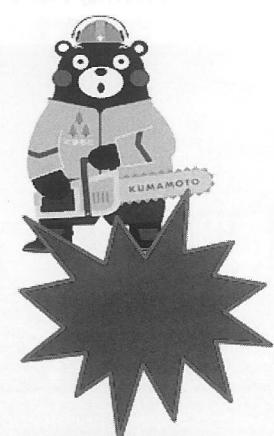
は、必ず、隣接地の所有者と境界を確認してください。

◇なお、伐採前には「伐採届」を役場へ提出することが必要です。

◇自分の山林が知らないうちに伐採された時は、まずご一報ください。

#### ※ 山林の見回りなし、日頃からの管理が大変重々です!

■お問い合わせ先:産山村役場 経済建設課 ☎25-2213



## こんにちは! オースティンです。

オースティン・ギッシュ



産山のみなさん、こんにちは。

みなさんは聖パトリックの祝日を知っていますか。この日は世界で、St. Patrick's Day (セント・パトリックスズ・デイ) と呼ばれています。聖パトリックというキリスト教の聖者の名前に由来しますが、アイルランドの文化や人々を祝うための日でもあります。19世紀(1845年)のジャガイモ飢饉の影響で約150万人のアイルランド人が北アメリカに避難しました。多くの都市で大規模な聖パトリックの祝日のパレードやお祝いを行います。緑色はアイルランドを表しますので、みんなは緑色の服を着たり、緑色の飾りを飾ったりします。ボストンや他の大都市は噴水や川も緑色に染めます。

アメリカでは、聖パトリックの祝日にコンビーフがよく食べられています。他にもソーダブレッドというパンや、シェバードパイというミートパイが有名です。緑色に染められたビールなどもあり、とにかく街中が賑やかな日です。



## 恒例・本屋大賞 2018年ノミネート作品

「本屋大賞」は全国の本好きな書店員が自ら面白かったという新刊本を投票して選ばれています。665人による一次投票により上位10作品がノミネートされました。誌面の都合上1冊ずつのご紹介ができませんので、ぜひ図書室で直接手に取ってみてください。大賞発表の4月10日までに読み比べて大賞を予想してみてはいかがでしょうか。



—3月の学校図書室開放日—  
**3日(土)・17日(土)**  
**10:00～15:00**  
本友の集い 17日(土) 13:30～



高機能消防指令システム  
分駐所だより  
産山波野分駐所

阿蘇市黒川の阿蘇広域消防本部に高機能消防指令システムが導入され、平成26年12月17日から運用を開始しています。このシステムは、最新の通信機器を活用し、阿蘇消防管内の119通報を受け付けています。これまでの時間が従来よりも短縮されます。またGPS(衛星測位機能)により、出場している車両の位置や状況を把握しながら指令を行い、迅速で確実な災害活動を支援しています。

インフルエンザ大流行  
感染経路  
①こまめな手洗い  
②マスクの着用(正しい着用)  
③人ごみに近寄らない  
④十分な栄養補給、睡眠  
この4つに尽きます。これから感染性胃腸炎の流行の恐れもありますので、今から習慣付けておきましょう!

感染予防  
感染経路から、必要だと考える予防方法は:

お問い合わせ・連絡先  
阿蘇広域消防本部  
0967-34-0024  
産山波野分駐所  
24-2766

## 人権啓発広報(3月)

## 一心豊かに生きるために

### 普通って何?

平成17年5月3日の朝日新聞の読者の投稿欄に掲載された文章です。

我が子を「普通じゃない」と言われた親の無念さ、そして障がいを持っている方たちが生き生きと生活するにはほど遠い現代の社会的一面が見てとれます。

「普通」という単一の価値基準、固定した考えは、社会的に弱い立場に置かれがちな人を排除し、差別を助長するものです。

今一度、自分の持っている物差しを確認してみる必要があります。「『普通』・『普通じゃない』と分けられない社会になれば、その時が来れば私も娘を残す不安もなく死ねるかも知れないと思った」とする“死ぬにも死ねない母親の悲痛な叫び”に耳を傾けなければなりません。

我が子を「普通じゃない」と言われた母親の心の痛みに寄り添いながら、「普通」って何なのか、「当たり前」って何が「当たり前」なのか、何が正しくて、何が間違っているのか、子供たちと共に考えることができたらと思います。



(人権教育指導主事 笹原)

### 普通じゃないのよ

「普通じゃないのよ」

その声に熊手をもつ手を止めて数メートル先を見た。

潮干狩りに興じている幼児二人を連れた若いお母さんの口から出た言葉だと分かると、ふり向いて娘を見た。

先月中旬生になった娘には重い知的障害がある。思春期のシンボルも現れはじめたその顔や手は、泥で汚れていた。どうか、子どもから「あの人、大きいのに泥で遊んでいるよ」と質問され、それに母親は答えたのだろう。母親もどう説明したらよいのか分からなかったのだろう。けれど「普通じゃない」という言葉は、幼い子どもたちをぴしゃりと黙らせるには効果があった。

休日で天気も良く、おまけに大潮だったので、かなりの人がにぎわったが、たくさんのアサリを持って帰ることができた。潮を吹くアサリは、どれも同じものはない。色も模様も千差万別だ。まるで、他と違って当たり前と自己主張しているようだ。

「普通」・「普通じゃない」と分けられない社会になれば、その時が来れば私も娘を残す不安もなく死ねるかも知れないと思った。

平成17年5月3日 「朝日新聞」より

# 平成29年度 第18回産山村子どもヘルパー活動報告会・感謝状授与式

2月19日(月)、産山村基幹集落センターにおいて、産山村子どもヘルパー活動報告会並びに感謝状授与式を開催しました。

報告会では、小学5年生全員による活動の様子や活動を踏まえて感じたことなど、1年間の活動報告を行いました。

また、感想発表では中学1年生(7年生)を代表して井千拓さんと池部輝さんよりヘルパー活動を通して経験したこと、また感じたことなどの思いを発表されました。

感謝状授与式では、社会福祉協議会会长より今年度でヘルパー活動が終了する中学1年生全員へ4年間の活動に対して感謝状が授与されました。

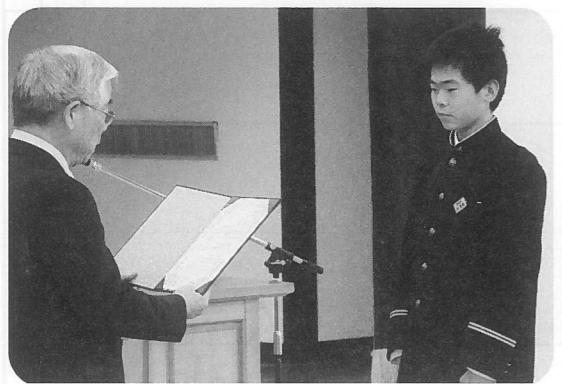
今年度も関係者の皆様方のご支援とご協力をいただき「産山村子どもヘルパー事業」を無事終了することができました。ありがとうございました。



活動報告会



感想発表



感謝状授与式



記念撮影

## 社協に寄せられた善意の寄付【2月分】

毎月、「福祉のためにぜひ役立てて下さい。」とたくさんの善意をお寄せ頂いております。その主旨にそくべく“地域福祉発展”的に、有効に活用させて頂きます。

### 【香典返し】

・井 良一様より（小迫） 故 忠良様分として  
～心から感謝申し上げます。 ありがとうございました。～

**社協だより**

平成30年  
第285号  
発行者  
産山村  
社会福祉協議会  
☎23-9300

ふれあいで、育てよう  
ふくしの心

**福祉サービスセンター 「ほっと館」です**

産山村大利657-2  
tel0967-25-2233 fax0967-25-2281

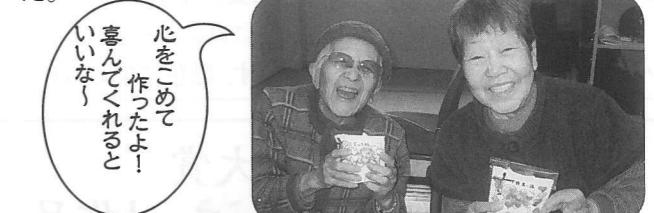
2月2日、3日に節分行事で豆まきを行ないました。「鬼は外!」と利用者様皆さんで声を合わせ、鬼に向かって楽しそうに豆を投げられていました。



最後は仲良く鬼と記念撮影♪



2月14日はバレンタインデーということで、女性利用者様が男性利用者様へのプレゼントを作りました。手渡しされた男性利用者様は少し照れくさそうな笑顔で喜ばれています。

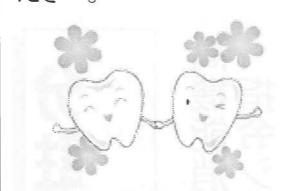


3月1日からの1週間は「女性健康週間」です。仕事に家庭に忙しい女性は、つい周囲のことを優先して自分の健康については後回しになります。この機会に、自分自身の健康について、振り返ってみてはいかがでしょうか。

元気に自立して過ごせる期間のことを「健康寿命」といいます。長い人生、いつまでも元気に過ごすためには「健康寿命」を延ばすことが必要です。女性はホルモンの関係で、閉経後は骨粗しょう症になりやすく、急に高血圧や脂質異常症が進むことがあります。若いときから定期健診を活用し、その結果を確認しながら具体的に生活習慣を見直しましょう。また、産山村では食育推進協議会や産山女子会などの活動をとおして、あらゆる世代の女性が交流できる機会があります。（男性も参加可）趣味の時間や楽しい会話はストレス解消にもつながります。このような機会を上手に利用して、産山村ならではの健康づくりと一緒に考えてみませんか。

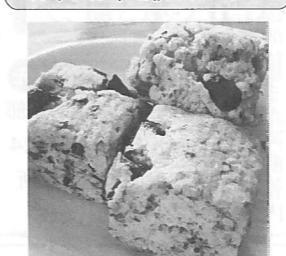
### ■健康教室のご案内■

3月は各地区サロンで歯科衛生士をお迎えし、お口の健康教室を開催します。健康長寿の秘訣のひとつ「歯と口のケア」について楽しく学びましょう。開催期日は、広報掲載の「村民カレンダー」をご覧ください。



Let's cooking!

ほうれん草都會考案!  
～ほうれん草を使ったレシピ～



### ○ほうれん草チョコスコーン (天板30×30:1枚で焼ける分量)

材 料	分 量	作 り 方
ホットケーキミックス	300g	1. 茄でたほうれん草の水分を絞りざく切り。牛乳と合わせミキサーにかける。
強力粉	60g	2. 生地はすぐできるのでこのタイミングでオーブンを200度に余熱開始。
ベーキングパウダー	小さじ1	3. 大きめのボウルに粉類をすべて合わせ軽く混ぜる。
オリーブオイル	30g	4. 油を入れて、手を擦り合わせるようにして混ぜる。
またはサラダ油	50g	5. 4に1を加え、ざく切りにしたチョコも加えぎっくりと混ぜてひとまとめにする。
茹でたほうれん草	50g	6. ボウルの中で生地を押し広げる。これを半分にたたむ。たたんだ生地をまた押し広げ半分にたたむ。3回ほど繰り返す。多少粉っぽくても〇。
牛乳	50g	7. 天板にオーブンシートをしき、生地を乗せ少し押しながら広げ、包丁で、好みのかたちに切る。kome切り口をさわらないように。
板チョコ	1枚	8. 200度のオーブンで12~15分焼く。焼き上がりの目安は表面に焦げめがついたら〇。



# 村民カレンダー

平成30年3月～平成30年4月

月日	曜	行 事 予 定	ゴミ収集日	診療所
3 / 5	月		可燃物	○
6	火	第2回農産物販売を軸とした交流促進講演会(14:00～集落センター)		○
7	水	山鹿サロン(9:30～)		○
8	木			○
9	金	1歳6ヶ月・3歳児歯科健診 (13:30～産山村診療所)	可燃物	○
10	土	小中学校卒業証書授与式(10:00～)		
11	日			
12	月	農業委員会(予定)	可燃物	○
13	火	第3回農産物販売を軸とした交流促進講演会(14:00～集落センター) 中山鹿・家壁サロン(13:30～)	ビン・カン	○
14	水			○
15	木		リサイクル	○
16	金	南部サロン(13:30～) 南田尻サロン(13:30～)	可燃物	○
17	土			
18	日			
19	月		可燃物	○
20	火	乙宮サロン(13:30～)		○

月日	曜	行 事 予 定	ゴミ収集日	診療所
21	水	春分の日		
22	木			○
23	金			可燃物
24	土	保育証書授与式(9:00～)		
25	日			
26	月			可燃物
27	火	産山サロン(13:30～予定)	ビン・カン	○
28	水			○
29	木			○
30	金			可燃物
31	土			
4 / 1	日			
2	月			可燃物
3	火			○
4	水	保育園入園式(9:00～)		○
5	木			不燃物

◎上記の行事は予定ですので、詳細については役場担当課までお尋ね下さい。